

長崎県福祉サ - ビス第三者評価結果報告

1. 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構

2. 事業者情報

名称：社会福祉法人 相愛会 八斗木保育所	種別：認可保育所
代表者氏名：施設長 福島 満子	定員（利用人数）： 60名
所在地：長崎県雲仙市国見町土黒庚357番地 Tel 0957-78-3450	

3. 総評

特に評価の高い点

- 平成8年に雲仙普賢岳が見える山の中腹に設立された保育所である。園庭から玄関ホールを通して海が見える開放感のある内部構造や、応答的保育という独自性が浸透している事が園児の表情の穏やかさから窺えた。
また、自然に溶け込み、のびのびとした環境と16年かけて築きあげた近隣住民と利用者や家族、地域に密着した保育所として浸透している。
- 保育所体験特別事業として子育て支援サークル「カリメロ倶楽部」や運動会、おじいちゃん・おばあちゃんとの「ふれあい会」いきいきっ子カーニバルへの行事参加など、随所に「生きる根っこ」を育てる保育を行っている。そして園の理念と保育の基本である「子供の発達のねらい」に「知」・理解、「情」・楽しい、「意」・チャレンジは、遊びの中にアルゴリズムと考える力を取り入れる事により園児の可能性を伸ばしている。
また、パンフレットには、簡潔に分かりやすい表現で園の独自性が表されている。
例えば「いきいきっ子を育てる子ども主体の援助保育」については、0歳児では「自分の名前を呼ばれるのを待つ、分かると返事をする事が嬉しくてたまらない」等一つ一つが新たな発見や体験でその反応を、喜びと共に成長を見守っており、保育士の視線で、子供主体の援助保育を行っている。そして「考える力を育てる遊び環境、健康安全で情緒の安定できる環境作り」では、考える力はモンテッソーリ教育(自分で考える、何故?を展開できる芽を育てる)やリトミック(音楽で楽しく遊びながら子どもたちの持っているあらゆる能力を引き出すための教育方法)遊びなどを取り入れた保育計画が立案されている。

- ・ 職員の働きやすさについては、二日間の調査中に、当日出勤予定の職員が急な休みが必要となり、早急に代替職員で対応されていた。職員間の連携が整備され、急な休みにも対応できる勤務体制となっている。

改善を求められる点

殆ど、前回の調査結果を踏まえて、改善に取り組まれている。

今後の課題として、文書として残す必要がある部分や、個人情報にはきちんと取り組まれているので、保護者から児童の記録の開示の求めがあった場合に、開示する文書を作る等取り組むことが望まれる。

4 . 第三者評価結果に対する事業者のコメント

- ・ 5年前受けた頃とすると、評価の項目も増えて、保育をしながら、まともな評価ができるのかと心配でした。でも1項目ずつ、かみくだいて質問をして下さりなんとか答を出すことが出来、ありがとうございました。アルゴリズムの問題解決の定型的技法まで、ご理解して評価していただき、また考える力をモンテッソーリの実践にも、もっと力を入れていきたいと思えます。
また、幼少の育ちの大切さを改めて反省、痛感し、ご説明の中でも心を揺れ動かされる時もありました。
今後は、マンネリ化を打破して、子どもたちに少しでも高い保育の提供をしいきたいと思っています。ありがとうございました。

5 . 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)

6 . 事業所プロフィール (別紙)

7 . 利用者調査結果 (別紙)

評価細目の第三者評価結果（共通）

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	第三者評価結果	評価者コメント
- 1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
- 1-(1)- 理念が明文化されている。	a	理念は、園便りやパンフレット、広報誌に明記され保育所の地域での役割を反映している。
- 1-(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	基本方針は理念に基づいており、パンフレットや園便りなどに明文化されている。
- 1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
- 1-(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a	理念や基本方針は、新たに法人の傘下に入った保育所を含め、月1回の研修会で職員に周知されている。
- 1-(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a	理念や基本方針が入った園便りを毎月利用者や市役所など公的機関に配布し周知を図られている。玄関の掲示板にも表示されている。

- 2 計画の策定

	第三者評価結果	評価者コメント
- 2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
- 2-(1)- 中・長期計画が策定されている。	a	毎年の中長期計画は、保育内容の課題や問題点の解決に向けた策定が具体的に示されている。
- 2-(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a	前年度の分析、評価を踏まえて、中長期計画の内容を反映した事業計画となっている。年度途中でも必要に応じた見直しも行われている。
- 2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
- 2-(2)- 事業計画の策定が組織的に行われている。	a	事業計画は職員会議で検討し、随時実施状況の把握や評価が行われている。
- 2-(2)- 事業計画が職員に周知されている。	a	職員会議において配布し、職員の意識を高める説明や、進捗状況の確認などで継続性を図っている。
- 2-(3)- 事業計画が利用者等に周知されている。	a	年1回の保護者会で配布し分かりやすく説明をされている。玄関ホールに事業計画を置いている。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	評価者コメント
- 3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
- 3-(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	職務分担表に明記し、会議や研修への参加されている。有事の際の役割と分担もマニュアル化されている。
- 3-(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	研修などに参加され、法令遵守を理解し、職員への周知は、職員会議で報告し共有されている。

- 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
- 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	第三者評価を受けることでその意欲を示され、職員会議で話し合い保育の質の向上に努められている。
- 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	人事考課表で毎年評価分析を行い、職員会議で提案された保育環境、働きやすい環境整備、職員との意思の疎通などできている。

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

	第三者評価結果	評価者コメント
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
- 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	保育協会青年部に加入し、社会の動向や地域の情報を分析している。少子化ではなく地域での出生率の増加を把握している。
- 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	職員会議で定期的に在園児の分析を行い、行事関連のコストについて職員会議で検討するなど職員との情報の共有を図られている。
- 1 -(1)- 外部監査が実施されている。	a	監査は定期的に行われており、指導に沿った改善をされている。

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	評価者コメント
- 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。		
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a	中長期計画の中に必要な人材確保が明確に記載され、急な休みにもすぐ対応できている。
- 2 -(1)- 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a	人事考課を行い職員の個性や能力を把握している。チェックシートの活用、内容の分析など行われている。
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	職員の自主性を重視して、職員との意思の疎通を細かく工夫されている。職員から直接管理者へ意見が言える環境である。
- 2 -(2)- 職員の福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a	福利厚生センターに加入しており、業務分担表に担当者職員があり、職員の希望に沿う体制が作られ稼働している。
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	事業計画の中に、年間研修計画が作成しており、職員の質の向上への積極的取り組みが窺える。
- 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	事業計画に沿って研修計画が立てられており、初任者、中堅職員研修などに参加している。
- 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	研修報告書の確認と職員会議で報告や研修で理解できた結果を他の職員と共有し次の研修参加に反映できている。
- 2 -(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
- 2 -(4)- 実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	実習生の受け入れに当たり、要領や会議録、養成講座の研修や担当者以外でも連携を取りスムーズに実習ができている。又、実習要請学校との覚書の締結もされている。

- 3 安全管理

	第三者評価結果	評価者コメント
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
- 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	過去1年間は問題は発生していない。リスクの種類別にフローチャートやマニュアルがあり、職務分担表に責任者や担当職員が明記されている。安全管理は徹底されている。
- 3 -(1)- 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a	マニュアルは定期的に見直され変更される部分もある。災害は想定範囲内でマニュアル化されており、全職員に周知されている。
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a	事故防止のチェックリスト等があり活用されている。食料の備蓄が確認され不審者情報など保護者との連携で安全確保の整備がされている。

- 4 地域との交流と連携

	第三者評価結果	評価者コメント
- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
- 4 -(1)- 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a	子供の社会体験の一環として、地域の行事や小中学校、介護施設と交流を重視されており、当保育所の際立つ特徴と評価できる。
- 4 -(1)- 施設（事業所）が有する機能を地域に還元している。	a	子育て支援サークルや相談窓口を園便りに掲載し、広報誌へはホームページの紹介など掲載されている。
- 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	ボランティア受け入れのマニュアルを作成し受け入れの意義や方針を明文化されている。
- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。		
- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	a	地域住民や公的機関との情報の共有化、職員や家族との連携など明確にされている。
- 4 -(2)- 関係機関等との連携が適切に行われている。	a	隣接の小学校や民生委員、自治会への参加や関係機関の資料が確認でき必要な情報は保護者に連絡帳で提供している。
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握している。	a	関係機関との連携で様々な情報を共有し、書類の整備や会議録に残すことで、子育てニーズの把握が行われている。
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b	計画された活動の記録はしっかりと残されていたが、活動の評価までには到っていない。今後の検討課題とされている。

評価対象 適切な福祉サービスの実効

- 1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	評価者コメント
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	パンフレット、保育所指針や勉強会、職員会議でも子供の人権の尊重を重視して取り組まれている。
- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	個人情報の保護に関しては、確実に重視されており、マニュアルも充実している。

- 1 -(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
- 1 -(2)- 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a	年度末に保護者会で満足度アンケートをとられており、アンケート結果を分析し、評価を行っている。玄関には個別相談用紙なども準備されている。
- 1 -(2)- 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a	年度末の保護者会と、保育参観や保護者懇談会は隔月開催し行事毎のアンケートを取られている。また、年配者向けの触れ合い会は満足度向上に繋がられている。
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a	個人面談希望届出用紙やアンケート用紙など玄関に設置しており、相談職員を指名される事もあり、相談しやすい環境作りをされている。
- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	苦情解決の体制が確立されている。対応した場合は職員会議で検討し、苦情を出された保護者への配慮もされている。
- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	苦情解決のため規則と苦情処理の仕組みと解決・評価まで一連の体制を整えている。

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果	評価者コメント
- 2 -(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b	保育士の自己評価と保育所の自己評価は、今回の第三者評価受審に向けて担当者を決めて行われた。定期的な取り組みを期待したい。
- 2 -(1)- 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a	評価を受け、課題を職員会議で検討し、改善策を全職員で共有し実施する計画を策定し実施されている。
- 2 -(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
- 2 -(2)- 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	保育サービスの実施方法は確立されており、柔軟な取り組みとして、学童保育や一時預かりなど実施されている。
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	職員会議で見直しに関する方法や、職員や保護者の意見が提案され検討されている。
- 2 -(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	指導計画や記録の方法などを統一し、できていない時の指導をする側とされる側の意識は高く、サービスの質の向上に向かっている。
- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b	記録の管理状況には責任者の設置、保存や廃棄の規定はあるが、情報開示の規定はない。規定や対応などへの取り組みに意欲を示されている。今後の取り組みに期待したい。
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	保育や支援のあり方はケース会議が定期的に必要に応じて開催し、職員間で情報の共有をされている。

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果	評価者コメント
- 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	保育所のホームページがあり、不特定多数の人が手にできる市役所などにパンフレットを置いている。
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	利用の説明に当たっての分かりやすい説明文書があり、保護者の同意の上で書面で残している。
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	他の保育所への入所変更手続きと引継ぎについての文書が作成されている。

- 4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果	評価者コメント
- 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	アセスメントの定期的な見直しが統一されており、ニーズの把握は個人記録や児童の記録がある。
- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a	指導計画の作成は長期と短期に指導計画を立てられている。また、児童記録に特記する事柄を取り上げて計画に明記している。
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	a	職員の役割分担で指導計画が作成されている。子供一人一人の発達状況を見通しながら作成された指導計画がある。
- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	定期的な見直しは毎月の評価で行われている。保育士は自らの自己評価につなげていかれる事を期待したい。

評価細目の第三者評価結果（保育所）

A-1 保育所保育の基本

	第三者評価結果	評価者コメント
1-(1) 養護と教育の一体的展開		
1-(1)- 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a	保育課程が園の方針や目標に基づいて子供とその背景や地域の実態、又、家庭の状況や保護者の意向を考慮しつつ職員全員が参画して編成されている。また、定期的に評価、見直しされている、週一回会議もされている。
1-(1)- 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	保育室は衛生的で、温かな雰囲気ではいはいや伝い歩き歩行など十分に体を動かす事ができるように個々の発達に合わせて安全性に配慮しながら環境づくりがされている。SDISの防止策として睡眠時の子供の呼吸や状態を10分おきに確認し事故防止に努めており、個々の声かけやスキンシップも心がけている。
1-(1)- 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	送迎時に子供の状態や様子を常に保護者と連絡を密にとり連携を図っている。子供の成長に応じて、“自分でしようとする気持ち”を尊重して着脱など牛乳パックで作った台などを置いて、靴下など自分でできるように配慮されている。また、子供が安心、安全に遊べるよう、1、2才児専用の園庭スペースが設けられており、大きな木の下で季節の移りゆく姿が感じられる。
1-(1)- 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	集団生活の中でも一人ひとりの興味関心に合わせた遊具、教材、環境が整備されている。異年齢（年長児）の姿を見ながら真似したりしながら育ちが見られる様子が伺える。集団生活の中でも安定しながら遊びを中心として自分の力を発揮しつつも友達と協力して一つの事をやり遂げるといった活動に取り組めるよう環境が整えられ、保育士が適切に関わっている
1-(1)- 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	a	近隣の小学校の運動会に、全園児がかけっこや踊りで参加したり、年長児は学童保育されているので一緒に遊んだり学習発表会や2月の保育参観を利用して、そこで就学に向けての話をされている。保育所児童要録の作成にあたっては、保護者との信頼関係に基づいて施設長の責任のもとに係する職員が参画されている。
1-(2) 環境を通して行う保育		
1-(2)- 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a	各部屋に温度、湿度計があり常に適度な環境に保たれておりチェック表を記入している。次亜塩素酸クリン水を各部屋に設置してあり清潔に保たれている。テーブルや背戸家、畳の部屋など一人になりたい時やくつろいだりできるような落ち着いた場所があり、園全体が木で作られてあり家具も木製で暖かみを感じられる。

<p>1-(2)- 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	<p>a</p>	<p>食事、遊び、睡眠などその時間も絵（マーク）で示し子供自ら考えて行動できるようにしてある。トイレに行くことをせかしたり強制したりせず、一人ひとりのリズムに合わせて、着脱の際もせかしたり着せたりせず、自分でやろうとする気持ちを大切に、トイレの前に手作りの台があり、子どもたちのトイレのあとにパンツやズボンの着脱や、座っても着脱できるように、自律心を育てる着脱の援助について工夫している。</p>
<p>1-(2)- 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>a</p>	<p>遊具や教材は棚に置いてあり常に子供が自由に取り出して遊べるようにしてある。子供の興味に即した遊具、教材は飽きないように随時入れ替えを行っている。4、5才児は当番制として掃除を行っており、それを見ながら2,3才児も片付けや簡単な掃除に参加している。</p>
<p>1-(2)- 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>a</p>	<p>テラスに昆虫やメダカといった身近な生き物に接する機会を作っている。散歩などで、自然の移り変わりなどを肌で感じている。地域の行事のもちつきにも積極的に参加し、交通教室やミニかもめ（電車）体験乗車なども、社会とかかわる支援を行っている。</p>
<p>1-(2)- 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>a</p>	<p>絵本の紙芝居を積極的に取り入れたり、子供たち同士でなりきりごっこや外国の方との英語の歌、会話、ダンスなどで表現し、楽しく交流を行っている。その他リトミックを取り入れて、子供たちの好きな楽曲で身体を使った表現、遊びを取り入れて、文字遊び、カレンダー作り、ポスト（お手紙）ごっこも楽しんで行っている。</p>

1-(3) 職員の資質向上		
1-(3)- 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b	保育士の自己評価を「自己評価ガイドライン」等に基づいて、定期的には行っていないとの事で、今後、自己評価が互いの学び合いや意識向上へつながっていくように期待したい。

A-2 子どもの生活と発達

	第三者評価結果	評価者コメント
2-(1) 生活と発達の連続性		
2-(1)- 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a	子供の質問に対しては、何かしていても手を休めて、子供優先に対応している。登園時に泣く子に対しては、抱っこしたり声かけたりして安心できるように接している。
2-(1)- 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	実際の受け入れ実績はないが、園舎は障害児の来園時などを考慮してバリアフリーにしている。現在まで障害児の入園はないが、受け入れ体制は整えている。
2-(1)- 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	現在まで、長時間保育の利用者はいないが、必要に応じて柔軟に対応できる体制を整えている。
2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
2-(2)- 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a	受け入れ時に確認したり、お便り帳に記入してもらっている。また、体調のすぐれない子については保護者と確認し食事内容やその日の過ごし方について柔軟に対応している。体調悪化、怪我などの際には担当が看護師へ相談して緊急の場合は家庭に連絡を行っている。
2-(2)- 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	3～5才児はランチルームでバイキング形式で自分が食べられる量に自分でついで食べている。自分達で育てた野菜などを料理して食べる事があり、天気の良い日はホールや戸外でも食事を楽しめるようにしてあり、配膳から後片付けも子供達で行っている。

2-(2)- 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a	毎日の残食や検食簿を記録して献立、調理の工夫に反映させている。旬の物や季節感のある食材を取り入れており、食育に関するアンケートを取ったり給食保育士部会を開かれている。体調を崩した時はその都度、おかゆなどに変更されるなどの配慮もされている。
2-(2)- 健康診断・歯科健診の結果や子どもの発育発達状況について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	年2回の内科健診、年1回の歯科検診、毎月身体測定の外にギョウ虫・尿検査も行われており、結果は用紙やお迎え時、口頭でも伝えられている。
2-(3) 健康及び安全の実施体制		
2-(3)- アレルギー・疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	保健衛生、食物アレルギー、保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表があり、主治医等の指示のもとで、食事や園生活においても配慮されている。
2-(3)- 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	b	衛生管理チェック表はあるが、職務分担表等において担当者、担当部署の設置が見られなかった。また、マニュアルとしてはあるが、調理部門のみで止まっている為、職員間での周知が見られなかった。今後、マニュアル化することで職員間の周知を図られる事に期待したい。

A-3 保護者に対する支援

	第三者評価結果	評価者コメント
3-(1) 家庭との緊密な連携		
3-(1)- 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	毎月の食育便りを発行し、中でもレシピを紹介してあり玄関ホールにも保護者が自由に取れるようにおすすめレシピが置いてある。また、「給食試食希望届」が置いてあり随時試食できるようになっている。毎日、サンプルも提示し子供がその日のメニューや量がわかるようにしてあり、食器や食材も安全性に留意している。
3-(1)- 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a	玄関ホールに個別面談希望届も設置してある。保護者サークル「ハッピータイム」も隔月開催されて、その時にも個人的に相談などを受けていたりしている。毎日の様子はてつなぎや保育室入り口ボードで知らせている。
3-(1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a	日々の子供の様子を玄関ホールのフォトパネルに設置している。保護者と共通理解を得るための機会（ハッピータイム）を設けている。
3-(1)- 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a	虐待については「虐待の早期リスト」に沿って早期発見に努めている。日々の子供の様子、着替え時、受け入れ時など気をつけて見守っている。マニュアルは定期的に点検、必要に応じて見直しが行われている。

事業所プロフィール（保育所）

1. 事業所名称： 八斗木保育園
2. 運営主体（法人名等）： 社会福祉法人 相愛会
3. 事業所所在地：長崎県雲仙市国見町土黒庚 357
4. 事業所の長の氏名（園長等）： 園長 福島 満子
5. 連絡先
電話：0957-78-3419
Fax：0957-78-3492
eメール：qq3p7bzd@gamma.ocn.ne.jp
ホームページ：http://ac.esbrain.com/souai/
6. 当該事業の開始年月日：平成 8 年 4 月 1 日
7. 同一事業所（同一敷地内または同一建物内で行われる事業を指す）で実施している同一運営主体の主な福祉サービス事業

放課後児童健全育成事業
一時保育事業
病後児保育（自主事業）
保育者体験事業

8. 事業所が大切にしている考え方（事業所の理念や基本方針等を簡潔にお書きください。リーフレット等の資料を添付していただいても結構です。）

保育理念

子どもが幸せな社会の中で、いきいきと成長していけるように、子どもの最善の利益を追求し、地域福祉の中心的役割を果たす。

基本方針

いきいきっ子を育てる、子ども主体の援助保育
生きる根っこを育てる（基本的信頼、自立と自律心）
考える力を育てる豊富な遊び環境と、子どもが健全・安全で情緒の安定できる環境づくり
地域社会のニーズに応える保育システムの充実と子育て支援

9. 現在の職員数 (平成 24 年 10 月 15 日現在):
常勤職員数 8 人、非常勤職員数 8 人 (常勤換算 15.43 人)

10. 定員及び現在の利用者:

(1) 一般保育

	定員(人)	利用者数(人)
0歳児	6	7
1歳児	6	14
2歳児	8	10
3歳児	10	8
4歳児	10	12
5歳児	10	11
計	50	62

(2) 特別保育

	定員(人)	利用者数(人)
延長保育	-	6
障害児保育	-	0
病後児保育	-	-
一時保育	-	2
その他 ()		

11. 現在のサービス提供能力(利用状況)と利用者数

(以下のいずれかに 印をおつけください)

サービスを希望しながら待っている人がかなりいる。

- ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない。
サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい。

12. 施設の状況

(1) 建物面積(保育園分):

523.91 m² 利用者1人あたり 11.64 m²

(2) 園庭面積:

2,179.96 m² 利用者1人あたり 35.16 m²

(3) 建築(含大改築)後の経過年数:

10 年

(4) 保育所の設置形態

- ・ 単独設置の場合 : (2 階建)
- ・ 他施設と併設の場合 :
併設施設種別 :
保育所の使用階数 : 1 階部分
- ・ 建築 (含大改築) 後の経過年数 : (10 年)
- ・ 3年以内の大改築計画の有無 : (無)

(5) 立地条件など

交通の便 : 多比良 駅から 徒歩、バス、その他 (タクシー) で 10 分
バス停 _____ から 徒歩 _____ 分
近隣の環境 (周辺道路の状況、近隣の施設や建物、公園までの距離など)

八斗木小学校が道路を挟んで隣接。県立百花台公園が2キロ。

13 . 苦情解決の体制について

(1) 第三者委員設置の有無

- ・ ~~設置している~~ (委員数 2 人)
- ・ 設置していない

(2) 第三者委員の活動状況 (定期的な訪問を依頼しているような場合その訪問頻度等) :

第三者委員に至るまでの苦情なし

(3) その他苦情解決に向けての取組み (意見箱の設置、オンブズマンの導入等) についてご記入ください

苦情は小さいうちに解決しようという取り組みで、保護者の日頃の悩みなどを相談できるコーナーを設けている。相談者が希望する相談日時や相談に応じる職員を指定する用紙を設け、投函箱に投函するようにしている。

14. 各種マニュアルの整備

- (1) 基本業務実施マニュアル (整備している 整備していない)
- (2) 感染症対応マニュアル (整備している 整備していない)
- (3) 事故発生対応マニュアル (整備している 整備していない)
- (4) その他のマニュアル類がありましたらご記入ください

虐待防止マニュアル
アレルギー対応マニュアル

15. 事業所の特徴

サービス面で、他の事業所と比較をして優れていると思われる点、特徴があると思われる内容をお書きください。

地域のニーズがある事業はすべて行う姿勢で運営しています。ニーズがあっても補助金対象にならない事業であっても自主事業として行っています。

地域向けに保育園のホールを開放し、希望があれば自由に地域の方が使えるような体制をとっています。

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果

評価機関名 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構

事業所名称	社会福祉法人 相愛会 八斗木保育園
-------	-------------------

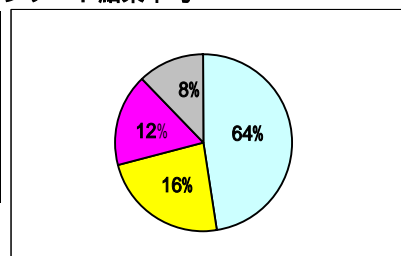
調査の対象・方法	<p>対象: 八斗木保育園</p> <p>方法: 事業所より、保護者に調査票を配布していただき、返信用封筒にて、直接当機関へ送付。</p>
----------	---

調査実施期間	2012年10月1日～2012年11月16日
--------	------------------------

利用者総数(人)	60
調査対象者数(人)	37
有効回答数(人)	14
回収率(%)	38

アンケート結果平均

はい	256件	64.0%
どちらともいえない	62件	16.0%
いいえ	47件	12.0%
わからない	31件	8.0%



総評	<p>福祉サービス第三者評価を実施するにあたり、利用者へのアンケートを実施したところ、調査対象者数37人中(当該園に、兄弟等で通園している家庭に対して、1家族1アンケートとしている)14人の有効回答であった。</p> <p>有効回答数は少なかったが、全体的に「はい」の回答が多く、特に「事故の発生」については、「保育所の中での怪我」が86%であり、「怪我の後の対応について適切であったか」については「はい」が64%と高い数値が表されている。このことから、大切な児童を預かる保育者として、日々、事故に対して危機感を持って、サービスを提供しているのが窺える。</p> <p>一方で「利用者の意向の尊重」で「保護者の意向に関する調査が定期的に行われている」の「はい」と「いいえ」の数値が同じであった。今後はより一層改善に取り組まれる事に期待したい。</p>
----	---

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	社会福祉法人 相愛会 八斗木保育園	有効回答数	14 人
-------	-------------------	-------	------

評価対象	No	質問項目	回 答	回答数	(%)	
全サービス共通項目						
保育理念・保育方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい		10 件	71 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		1 件	7 %
	2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい		7 件	50 %
			どちらともいえない		4 件	29 %
			いいえ		0 件	0 %
	3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい		8 件	57 %
			どちらともいえない		1 件	7 %
いいえ				1 件	7 %	
わからない				0 件	0 %	
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい		8 件	57 %
			どちらともいえない		4 件	29 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		1 件	7 %
プライバシーへの配慮	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい		7 件	50 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		3 件	21 %
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい		5 件	36 %
			どちらともいえない		4 件	29 %
			いいえ		5 件	36 %
			わからない		0 件	0 %
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい		9 件	64 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		2 件	14 %
8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい		9 件	64 %	
		どちらともいえない		0 件	0 %	
		いいえ		4 件	29 %	
		わからない		1 件	7 %	

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称		社会福祉法人 相愛会 八斗木保育園		有効回答数	14 人	
不満や要望への対応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい		8 件	57 %
			どちらともいえない		1 件	7 %
			いいえ		5 件	36 %
			わからない		0 件	0 %
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい		7 件	50 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		3 件	21 %
職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか	はい		5 件	36 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		4 件	29 %
			わからない		2 件	14 %
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありますか）。	はい		7 件	50 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
			いいえ		2 件	14 %
			わからない		3 件	21 %
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい		11 件	79 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		0 件	0 %
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい		12 件	86 %
			どちらともいえない		0 件	0 %
			いいえ		2 件	14 %
			わからない		0 件	0 %
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい		9 件	64 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		1 件	7 %
利用に当たっての説明【過去1年以内に利用開始した場合】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい		9 件	64 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
			いいえ		2 件	14 %
			わからない		1 件	7 %
	17	実際に利用してみて、説明どおりでしたか。	はい		7 件	50 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		4 件	29 %

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	社会福祉法人 相愛会 八斗木保育園	有効回答数	14 人
-------	-------------------	-------	------

個別サービス項目						
食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		10 件	71 %
			どちらともいえない		1 件	7 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		2 件	14 %
施設の環境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		11 件	79 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		0 件	0 %
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		11 件	79 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		0 件	0 %
保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会は多いですか。	はい		11 件	79 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		1 件	7 %
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		8 件	57 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		2 件	14 %
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		11 件	79 %
			どちらともいえない		1 件	7 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		2 件	14 %
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		10 件	71 %
			どちらともいえない		1 件	7 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		2 件	14 %
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		9 件	64 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		2 件	14 %
			わからない		0 件	0 %
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		9 件	64 %
			どちらともいえない		1 件	7 %
			いいえ		4 件	29 %
			わからない		0 件	0 %
	27	保護者が参加しやすいよう行事日程が組まれていますか。	はい		10 件	71 %
			どちらともいえない		3 件	21 %
			いいえ		1 件	7 %
			わからない		0 件	0 %

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	社会福祉法人 相愛会 八斗木保育園	有効回答数	14 人
-------	-------------------	-------	------

健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		7 件	50 %
			どちらともいえない		2 件	14 %
いいえ	4 件	29 %				
わからない	1 件	7 %				
健康管理	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		11 件	79 %
			どちらともいえない		0 件	0 %
			いいえ		2 件	14 %
			わからない		1 件	7 %